

講義レジュメ

講師 小谷田照代

内容・テーマ

子供の読書活動を推進するために～司書教諭の役割～ 期 日 2019.6.19

1 学校図書館の概要

- ・平成 26 年に開校した「静岡県初新設の施設一体型小中一貫学校」（開校 6 年目）
全校生徒は 258 名。校舎の中心に三層構造になった図書館がある。蔵書は約 2 万冊。
- ・学校司書は、小学校勤務（年間 280 時間=1 週間 8×35 週）と中学校勤務（年間 175 時間=1 週間 5 時間×35 週）の 2 名。
- ・司書教諭は、学級をもたずに、主に総合的な学習の時間を担当している。

2 子供の読書活動

- ・朝読書は、集会などが行なわれる火曜日以外毎日行なわれている。基本は自由読書であるが、国語の単元計画に合わせて「並行読書」を行ったり、教科の単元に関する内容の本を読んだりしている。
- ・読書の記録は、読書ノートを小学校（全国学校図書館協議会作成）・中学校（A3 版ノート）で統一して記入しており、学年に応じて記入内容を指導している。
- ・子ども同士で本を紹介する活動や読書会などを 5 年生～中学 3 年生までで計画的に行なっている。本の紹介は、毎年全校で行なっている総合的な学習の発表会であるプレゼンングランプリの時に、中学 3 年生の代表が発表している。
- ・1 年の最後には、今年の№1 の本を 1 学年下の学年で紹介するポップを作成している。中学 3 年生が作成する「静浦小中一貫校生はこれを読め！」掲示は、開校以来の卒業式掲示の定番である。

3 司書教諭の役割

○教員と児童生徒を対象として、全ての学びと人と図書館をつなぐ。

（「学校図書館全体計画」を元に、学校図書館の運営・活用を行なう。）

- ・カリキュラムのどこで、どのような図書資料が必要であるのかについて把握する。
→担当教員が、カリキュラムの単元名にチェック。
→司書教諭が、司書と連携し、関係図書の準備をする。
→教員と司書教諭は、単元計画について話し合う。
- ・「情報センター」として、情報活用能力を育成するために、特に総合的な学習の時間で習得する思考スキルについて、単元計画を担当と共に作成し、実践している。

〔参考文献〕

¹ 塩谷京子著（2019）『情報活用スキル 55』（ミネルヴァ書房）